

自分で考えることの大切さ

校長 山本 和弘

長く暑かった夏休みが終わり、今日から二学期が始まります。夏休み中は記録的な暑さが続きましたが、病気や怪我もなく健康に過ごせたでしょうか。いろいろな思い出話を児童・生徒から聞かせてもらうのを楽しみにしています。

さて表題に関連しますが、ノーベル物理学賞を受賞した小柴昌俊先生は、小児マヒにかかったり、学費をかせぐためにアルバイトを続けるなど、子どもの頃からとても苦労したようです。それでもすばらしいところをたくさんもっていて、その一つが、本の題名にもなっている「やればできる」という前向きな気持ちです。先生が中学生を教えていた頃、「この世から摩擦がなくなったらどうなるか」という試験問題を出しました。本の中で小柴先生はこう書いています。「正解は白紙答案。摩擦がなければ鉛筆の先が滑って紙に文字は書けないからです」正答者は3名だけだったといえます。先生は「一生懸命考えるプロセスこそが大事」と断言しています。

いよいよ二学期です。日頃の学習に加え各学年の行事、さらには学校全体で取り組むふたば祭があります。高等部三年生は大事な進路選択の時期を迎えます。スポーツの秋、読書の秋などとも言われて、やる事が多くて大変な反面、一年で最も充実した日々を送ることになると思います。

そこで児童・生徒の皆さんには、何事にも「やらされる」という意識ではなく、自ら進んで積極的に学習等に取り組んで欲しいと思っています。「自分で考える」ということにも大きく関係するのですが、二学期は「自分」をキーワードにさまざまな目標を立ててください。「自分でテーマを見つける」「自分なりの方法で挑戦する」「自分の夢を見つける」、そういう意味での「自分」です。

もちろん、自分だけで何もかもできるわけではありません。小柴先生は「自分の夢」のことを「卵」と表現しています。著書「やればできる」のなかで、「いつか達成したいと思っている『卵』を多くもってください。その卵のことをいつも本気で考えていれば、きっと何とかかなると思いますよ」と書き、最後を「自分の『卵』を大事にすると同時に、多くの人との触れあいを大切にしてください」と結んでいます。始業式でも話をしましたが、学期当初にお子さんと話す時の話題の一つにいただければと思います。今学期もどうぞよろしくお願いいたします。

最後に、日頃の救急業務の充実と発展に協力をしたということで、あきる野学園に東京消防庁秋川消防署長感謝状が授与されることになりましたのでご報告させていただきます。



本校の研究活動について

平成 27 年度研究テーマ 「児童・生徒の主体的な社会参加を目指した授業づくり」
ーキャリア教育に根差した授業（学習）の実践ー

1 中間発表会について

今年度A部門は、準ずる教育課程：「豊かな人間関係形成と社会形成の育成のための授業づくり」知的障害を併せ有する教育課程：「児童・生徒の主体的な社会参加を目指した授業づくり」自立活動を主とする教育課程：「生徒の主体性や気づきを促すための授業づくり」をメインテーマに研究活動を行っています。前期の研究協議会における講師の助言やアンケートをもとに授業改善の指針をまとめ、8月26日に全校での協議会をもちました。分科会に分かれて各学部の実践に対して活発な意見が出されました。それらの意見は後期の授業実践、研究授業の中に生かしていきたいと思っています。また講師の筑波大学教授川間健之介には優しくかつ厳しく貴重なご意見を頂いています。B部門は、小・中学部は生活単元学習、高等部は総合的な学習の中で3学部共通テーマ「児童・生徒の主体的な社会参加を目指した授業づくり」～キャリア教育に根差した生活単元学習の実践～をもとに今年度取り組んできました。高等部は生活単元学習の時間が十分に確保できないため、総合的な学習の時間に研究授業を行っています。講師に学芸大学の菅野敦先生をお迎えし、前期研究協議会では生活単元の授業そのものの捉え方、考え方、授業の在り方などの講演も頂きました。それをもとに8月28日には中間報告会を持って分科会形式の中で意見を交わしあい、後期の授業に向けて確認することができました。あきる野学園としての生活単元学習を考えていきたいと思っています。

2 教材教具交流会について

A、B部門とも、中間報告会後お互いが作った教材を持ち寄り、さまざまな個別教材やICT機器等の教材を紹介しあいました。

二学期を迎えるにあたって、各学部から

A 小学部

今日から2学期が始まり、明るい笑顔、元気な笑い声が教室に戻ってきました。親せきの方と過ごしたり、デイサービスではA小以外の友達と遊んだり、これからに備えて休み中に手術をしたり、それぞれの夏休みの過ごし方があったと思います。保護者の方には、夏休みの記録の記入ではご協力ありがとうございました。夏休みの様子を拝見するのが楽しみです。今週はリズムを取り戻すためにゆっくり、休まず頑張りましょう。3日(木)8日(火)はプール参観日となっています。昨年から、理学療法士の菅沼さんに水の中での動きを引き出せるような助言もしてもらっています。気持ちよく遊泳する様子をどうぞご覧下さい。

羽村



A 中学部

A 中学部は、金曜日の午後に学年毎の活動があり、その他は1～3年までの縦割りのグループで学習をしています。

2学期といえば、ふたば祭があります。もとも人数の少ない学部なので、学部全員で和気あいあいとしています。ふたば祭の取り組みを通じて学部の仲間みんなが一体となる実感を得られる時期がやってきます。今年の発表にはどんなドラマが待っているか、今から楽しみです。

2年生は7月に移動教室を終えましたが、部内のイベントとしては、3年生の修学旅行、1年生の校外学習、各グループの校外学習が行われます。行事への取り組みでいろいろな体験を増やしたいですね。

引地



A 高等部

いよいよ2学期が始まります。A高では、10月に1年生の移動教室があります。新宿に滞在し、江戸の伝統文化に触れながら、学年の親睦を深めて来たいと思います。また、11月のふたば祭では恒例の舞台発表、紙工作品の販売や日頃の学習成果の展示発表もあります。お誘いあわせの上、是非、見に来てください。

一方、2学期における進路の取り組みは、日々の学習課題にも結び付いていく大切なものです。特に、3年生は進路選択に向け、大事な局面を迎えます。基本は毎日の着実な積み重ねです。ご家庭と学校とで連絡を取り合い、連携を深めていきましょう。

皆が、健康第一で、楽しく充実した日々を過ごしていけるよう、ご協力をお願いします。

川瀬

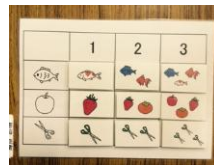


B 小学部の2学期は・・・

「できた!」「楽しい!」「もっとやりたい!」

教員一同、研修会で勉強し教材も沢山作って、一緒に勉強するのを楽しみにしています。笑顔溢れる2学期にしましょう!!

安斉



B 中学部

2学期の始まり 大きくジャンプ

元気な仲間たちの笑い声がB中の校舎に戻ってきました。2学期のスタートです。

今学期は、ふたば祭に向けてより一層、学習に熱が入る時期。1学期に身に着けた基礎力を基に大きくジャンプします。特に、美術や作業学習では作品をたくさんの方々に見ていただけるように準備をしていきます。また、今年も舞台発表を盛り上げていきます。生徒達にとって新しいことを覚えるのは大変なことですが、コツコツと努力し大舞台に向けて頑張ります。それぞれが懸命に課題に取り組む様子を連絡帳等でもお伝えしていきますので、励みになる言葉かけをしていただければと思います。

栗原

B 高等部

実りの秋の2学期。B高の取り組みも盛りだくさんです。

その中で大きな取り組みは、ふたば祭とインターンシップ(1年)・実習(2・3年)です。

ふたば祭では、今年も舞台発表と作業販売に取り組みます。今年もみんなで盛り上げていきたいと思います。

作業班では今年もいろいろな作品を作っています。(農園芸班は作物になりますが)当日ご来店いただくのを生徒教員一同、心よりお待ちしております。

また作業販売は他にも9月26日にイオンモール日の出、10月24日に教育フェア西風(東京都多摩教育センター)で実施します。どうぞお立ち寄りください。

田中秀



<配布資料訂正のお知らせ> 先日お配りしました、あきる野学園 PTA 広報誌「あきる野(臨時号)」で、3ページのA 中学部3年 古条 典子のフリガナが「のりこ」とありましたが、正しくは「ふみこ」です。関係の方々にご迷惑をおかけしたことをお詫びいたします。